

無人飛行機による噴煙観測

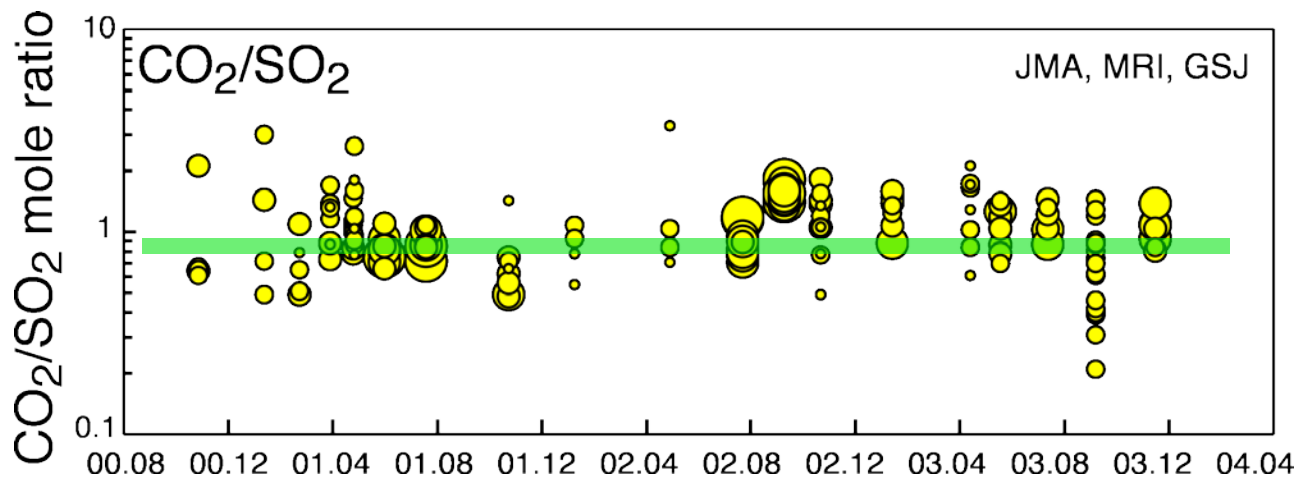
三宅島では有人ヘリで観測を実施。
現状の新燃岳では危険性が高い→無人機の利用



三宅島での観測例



三宅島での自衛隊ヘリコプターを用いた大型機材による観測



火山ガス組成はほぼ一定で、火山活動も安定していた



3、UAV自動自律航空機の諸元

GPS制御自律飛行により
予定された経路を自動飛行



観測機器搭載部

全長	2,200mm
全幅	2,800mm
重量	15kg
最大離陸重量	35kg
エンジン	2サイクル2気筒86cc
飛行速度	100km/h～220km/h
飛行時間	4～5時間
飛行距離	500km
ペイロードスペース	W200×L400×H180

無人飛行機飛行予定経路(北西風の場合)

